

高齢障がい者福祉 大きく前進

かわの義博活動レポート

合併浄化槽の転換支援訴う



参議院環境委員会で質問に立つ

参議院環境委員会で質問に立ち、高齢障がい者が65歳になって介護保険サービスに移行する際の費用負担、サービス内容について政府の見解を質しました。従来、介護保険サービスに移行すると生活保護世帯や低所得世帯であつても自己負担がありませんでしたが、今年4月からの改正で無料となること評価。その上で制度改正をよく理解していない方が不安を感じているため、制度の周知徹底を促しました。関連して介護保険制度には要介護度に応じた給付の上限があることから、懸念の声が上がっている実情を紹介しました。

これに対して、厚労省は「障がい

(発行元)
 河野義博後援会
 〒810-0045
 福岡市中央区草香江1-4-34
 エーデル大塚202号
 TEL 092-753-6491
 FAX 092-753-6492

者福祉サービスを利用してきた方が介護保険サービスのみで適当なサービス量を確保できない場合は、それに障がい者福祉サービスを上乗せで

きる制度となつて「引き出すことができませんでした。」
 この他、トイレの排水しか処理できない「単独処理浄化槽」から、風呂などの雑排水も処理でき、災害にも強い「合併処理浄化槽」への転換支援を求め、政府の支援を約束させることができました。

災害時「応援職員確保システム」

生活再建

一刻も早く

大規模災害時に迅速な応援職員の派遣を可能にする「被災市区町村応援職員確保システム」の運用が3月から開始されました。これは被災自治体と支援自治体の組み合わせを事前に決めておくことで、被災地の一刻も早い生活再建をめざすものです。

昨年5月の参議院決議

国境離島の漁業を守る

長崎・対馬市



運搬事業者から魚の輸送方法を聞く

長崎県対馬市を訪れ、漁協組合や運搬船事業者らと意見交換しました。対馬市で水揚げされた魚介類は公

明党が推進した「有人国境離島法」により輸送コストの助成が8割に拡充されました。その一方、漁業者が港から市場まで民間の運搬船を使った輸送は、助成の対象外となっていました。

私は、島民の切実な声を国に働きかけ、その結果、17年10月分から助成の対象とすることができました。

